

ここで中身の濃い体験が



通学合宿の宿舎となる慈恵園宿泊棟



第628号
 発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (6月1日現在 ※外国人を含む)
 男女 3,436人
 3,535人
 総人口 6,971人
 世帯数 2,052戸

共同生活を通して 自主性や協調性を養う

6月18日より通学合宿開始

六月十八日より小学校四年生を対象に通学合宿が始まりました。林原にある慈恵園を宿舎にして、通常通り小学校へ通うという試みです。通学合宿は特別な機会を設けて、家庭や学校の機能を補完する企画であり、効果が期待されます。

教育委員会事務局

原 みほ子

教育委員会は、社会教育委員会の提案事業である『通学合宿』について、南北小学校の校長先生はじめ、学校や関係機関と協議を重ね、小学校四年生を対象に、三泊四日の通学合宿を今年度より実施する方向を決めた。南北小学校の四年生児童を持つ保護者に向けて、この事業を通して子どもの自主性や協調性を養うとともに、親も上手な子離れができる機会となるよう、目的や概要、実施期間と場所、実施方法などの説明会を開催した。

『通学合宿』とは、通常の学校生活を送りながら、帰るところは自宅ではなく合宿所で、友だちやスタッフと食事作りや遊びなどの共同生活を送る、というものである。昨年度の調査によると、長野県下で十三市町村のべ二十三箇所で行われていた。飯田下伊那地域では阿智村の小学校で実施されているのみである。県や県教育委員会でも普及に力を入れている事業である。

通常、参加学年は小学四年生から中学三年生、実施期間は二泊三日から六泊七日、合宿場所は地区公民館や文化センター、スタッフ

は、大学生・育成会・PTA・ボランティアなど、各地区によって取り組む方法は様々であり、ほとんどの所が費用は個人負担である。豊丘村の場合、一般的な『通学合宿』と違い、食事の提供や宿泊場所があり、安心・安全な児童養護施設『慈恵園』を合宿所とする。支援スタッフは飯田女子短期大学の学生が務め、慈恵園の貝原園長先生の生活指導や当直職員も協力体制をとってくださる。期間は六月から九月までの火曜日から金曜日の三泊四日で開催される。合宿初日は、心の解放として、『絵本の会』(『こちゃんズ』の皆さん)による読み聞かせ、三日目の夜は慈恵園の園生との交流会も設けている。また、こ

の期間中、社会教育委員が、慈恵園での子ども様子を学見し、スタッフからの聞き取りを行い、継続した事業となるよう検証をまとめ、保護者へ報告する予定である。そしてこの事業が豊丘の子どもを育てる有意義な事業として村からもご理解をいただき、この合宿にかかる費用はすべて村が負担する。

初めての事業なので、当然のことながら保護者の方々から様々な質問や意見、不安なことなどがたくさん出され、それについて簡井出長先生に一つ一つ丁寧に説明させていただいた。この事業には、豊丘の子どもたちの将来を見据え、この時期に、豊丘村の慈恵園で友だちと共同生活をしたい」と、この先の人間形

を自由に書くことができるのです。この企画を通じ、筆者は、自分の思いを生き証として館報に残せるのみでなく、読者も、それを読むことによって自身の人生の参考にできるのです。現代社会は、多様な個性が、それぞれの理念や価値観に従って自由に生きることで成り立つており、その中で、こうした状況こそが、社会を革新し、新しい時代を切り開くエネルギーを産み出しているのです。そこ

成において大いに役立つ、意義のあることだという熱い思いが込められている。この事業は、両小学校の多大なるご賛同と、不安を抱えながらも賛同してくださる保護者の方々の、ご理解をいただき、塾やスポーツクラブのやり繰りもして、全員参加でスタートできることとなった。

豊丘独自の『通学合宿』を村民の皆様にもご理解いただき、豊丘村の子どもたちの育ちを温かく見守っていただきたい。

豊丘村では朝食をきちんと取るという内容のスロガンが奨励されています。私は一人暮らしを始めてから食事の有り難さを強く感じるようになりました。他の人によって貰える食事の美味しさ、嬉しさは、自分が日々食事作りを行わない大変さを学ばないとなかなか理解できないと感じます。私がまだ中学生だった頃、朝食坊をしてしまい、母が作った朝食を食べることに登校した事は少なからなかったのですが、今思えば申し訳ない気持ちでいっぱいになります。

慈恵園の調理の方々も、朝食、夕食、それぞれのメニューで子ども達の為に食事を作ってください。調理の方々一人一人の家庭の味を子ども達へ運んでくれます。朝食は子ども達が一日元気に過ごせるように、夕食はまた明日も頑張ろうという気持ちをこめたそれぞれの食事です。きちんとした食生活、大勢で食べる食事は子ども達の健康な身体を作ることにももちろん...

「ご飯を作ってくれてありがとう。」
 「いただきます。」
 という感謝の気持ちを培い、心の健康、成長にも繋がっていくのだと感じています。
 (下畑麻由未)

合宿の通学時も、このような笑顔が

館報に新企画

『村民広場』

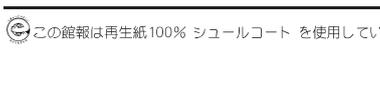
募る思いを紙面に!

公民館報では、「村民広場」という新しい企画を始めます。これは、村民の方々が、今何を考え、何を訴えたいか、自由に書いていただくコーナーを設けるということです。現在、「段丘」という欄で、編集委員がそれぞれの思いや考えを自由に記しておりますが、この発想を、ぜひ村民の方々にも広げたいと思います。

豊丘村の公民館報の大きな特色は、一般の村民自身が記事を書き、それぞれの思いを讀者である他の村民に直接伝えていく点にあります。まさに、「村民の村民による村民のための公民館報」ということです。しかし、投稿記事を除き、実際には、記事の内容は依頼されたテーマに限るという制約がありました。新企画のコーナーでは、この制約を取り除き、「何でもよし、今思っていること、考えていること、訴えたいこと」

で、この新しい企画には、村民の方々が、ご自分の思いや考えや意見を、自由に記していただきたいと思えます。豊丘村は人口七千人前後と比較的小きな自治体ですが、それでも、そこには様々な個性が息づいています。その個性豊かな姿を『村民広場』に映し出すことができれば、館報も更に魅力あるものになっていくと考えます。ご協力をよろしくお願いいたします。

(公民館 唐澤克己)



この館報は再生紙100% シュールコートを使用しています。

長年の尽力が評価される

河野さん、堀本さんが郡体協より功労者表彰

村の体育協会に所属する河野重敏さんと堀本明一さんが、この度、地域のスポーツ振興に多大の功績を残されたということで、下伊那郡の体育協会より表彰されました。スポーツを楽しみたい方々は、大勢おられますが、お二人のように、陰になり日なたになつてその方々をまとめ、リードしていくことは、なかなか大変なことです。今回表彰されたお二人に、感謝と敬意を込め、祝福の拍手を送りたいと思います。

皆さんに感謝

豊丘村体育協会
堀本 明一

五月二十二日に飯田合同庁舎にて、下伊那体育協会の総会の席で、私を二人が功労者表彰を受けました。河野重敏さんは、長野県ソフトボール公認審判員で、村のソフトボール審判部長も長年勤められソフトボールの審判員という立場でソフトボールの振興に尽力され、ソフトボールの普及に尽くされた功績を評価され

こちら資料館 ③ 歴史民俗資料館を見学して②

今回は北小四・五年生の感想文です。手紙文と新聞にして届けてくれました。



北小五年 山本蒼天
ぼくは資料館を見学して心に残ったことが二つあります。



一つ目は電話です。手回しで針金をつないで、中には交かん土がいて、この電話をかけるか聞きました。そして



その家に電話をつなぐと知りました。ぼくは最初の電話を見て、トトロにあんなと思いました。この電話は、



トトロのこの時代の電話なんだと思いました。略(資料館主任 岡庭易彦)



表彰式を終えて(左が河野さん。右が堀本さん。)

豊丘村のみ開催しています。こうした流れをみて、諸先輩方が築いてきた体育協会は素晴らしい団体だと思えます。少しずつ年齢も上がってきており、若い人への引き継ぎも考えていかななくてはならない時期に入ってきています。今回の功労表彰に対して、厚く御礼申し上げます。

団体のバレー、テニス、卓球が南信へ

豊丘中、中体連下伊那大会で健闘光る

中学校体育連盟主催の下伊那大会が、六月八日、九日を中心に、郡内各地で開催されました。豊丘中の選手は、各種目で大いに健闘し、好成績を残しました。南信大会に進む選手にはもちろんのこと、予選で惜敗した選手にも、その健闘に対し、拍手を送ります。

- 予選リーグで惜敗 (テニス男子個人) 塩澤・松下ペア
- ベスト24で南信大会へ (テニス女子団体) 3位で南信大会へ
- (テニス女子個人) 森田・前野ペア
- 3位で南信大会へ 矢澤・林ペア
- ベスト16で南信大会へ (軟式野球) 代表決定戦で惜敗
- (バレー女子) 8位で南信大会へ
- (バスケット) 予選リーグで惜敗
- (卓球男子団体) 決勝1で惜敗
- (卓球男子個人) 市沢孝太
- ベスト16で南信大会へ 竹村晃祐
- ベスト32で南信大会へ
- その他の選手は惜敗 (卓球女子団体) 4位で南信大会へ
- (卓球女子個人) 西元由希音
- 3位で南信大会へ 遠山 稜
- ベスト32で南信大会へ
- その他の選手は惜敗 (柔道) 富内海里
- 2位で南信大会へ (剣道) 片桐 陸
- 3位で南信大会へ
- その他の選手は惜敗 (サッカー) 3位で南信大会へ

同じ物でも独自性が

新規グループ「ひばりの会」紹介

充実した人生を送るためには、三つの基本的要素が必要で、すなわち、①健康②経済的基盤③生きがい、です。同じ目的をもつ人々が集まって技能の向上をめざすグループ活動は、この三つの基本的要素に深く関係しています。技能の向上は一人でも可能ですが、グループで取り組めば、楽しさも倍加します。

楽しみながら 技術を習得

ひばりの会

吉沢 孝子

パッチワーク「ひばりの会」は、今年二月、講師に佐々木先生を迎える事ができ、会員五名でスタートし



色彩豊かなすばらしい作品ができます

れ違った自分だけの作品ができ上がります。今は三作目のチュエリッブの花束を作っているところです。これから先、ポーチ、タペストリーと、作りたいものはいろいろありますが、ゆつくりと楽しみながら技術の習得ができていくけたらうれしい事です。まだ始まったばかりの初心者グループですので、興味のある方は見学からでもお楽しみ下さい。

今から完成が楽しみ

社会教育施設の完成予想図



立派な施設になれば、活動もさらに充実しそうです

老若男女が集い楽しむ

村民ゴルフ大会で気分をリフレッシュ

村民ゴルフ大会が、六月七日に高森カントリークラブで行われました。村内のゴルフ愛好者百余名が一堂に会し、さわやかな緑の中で、思う存分プレーを楽しみました。参加者はプレー終了後は公民館に集まり、懇親の宴を開いて激戦を総括し、ゴルフ談義に花を咲かせました。

百人のお祭り騒ぎ

北村 片桐久典

年に一度の村民ゴルフ大会、私も毎年参加させて頂いています。今年が第十六回ですが、村内外から老若男女上手下手を問わず百十名が参加する中、下手さ振りを存分に発揮しました。ゴルフコンペと聞くと、少々敷居が高いと感じる向



さわやかな緑、のどかな自然、心がゆったりします

豊丘の自然

~シリーズ~
No.116

ドクダミ
(ドクダミ科)



年一度の村民ゴルフ大会、私も毎年参加させて頂いています。今年が第十六回ですが、村内外から老若男女上手下手を問わず百十名が参加する中、下手さ振りを存分に発揮しました。ゴルフコンペと聞くと、少々敷居が高いと感じる向

今月の主役はドクダミ。平地の日陰に多く普通に見える多年草。特有の悪臭があるので、あまり好まれない。その上、和名は毒痛み。しかし、「干葉」の別名があるように、解毒、利尿作用など十種類もの薬効があるのだそうだ。「ドクダミのテンプル」も「ドクダミの先生」の言葉。ここで、花について書いておく。私たちに花のよ

(山田 拓)

ゴルフクラブをお持ちの皆様、第十七回は是非参加されてはいかがでしょうか。私もへたくそに磨きをかけて次回も参加の決意です。公民館を始め、大会準備の方々には大変かと思いますが、この大会が益々盛り上がり、ますます心を祈念申し上げます。

接戦を制し優勝

少年野球大会で豊丘チーム

北小六年

森田健太郎

五月二十六日の豊丘大会では、ぼく達豊丘少年野球クラブが今年三度目の優勝をしました。ぼく達のチームは練習をたくさんしてきたので、必ず勝ちたいと思っていました。第一試合は不戦勝で、二回戦は松尾と対戦しました。取って取られてのくり返していましたが、三回に一気に三点を取って勝ちました。

ぼくは久しぶりのフェースで、フライもたくさんとれたし、ヒットも打てたのでよかったです。決勝戦は、橋南と戦いました。前の大会で三対十一で負けた相手なので、負けたくないと思いました。途中二対三で逆転された時は、このまま負けてしまうかもと、あきらめそうになりました。でも、チームみんな協力して声をかけ合ったりヒットを打ったりして、ついに逆転しました。その後も点を取り、最後サードからの送球をファーストのぼくがとり、六対三で勝ちました。

自分達の住んでいる豊丘村の大会で、やさしく、時にはきびしく教えてくれるコーチや、手伝いしてくれる家の人達の前で、仲間といっしょに優勝でき、とてもうれしかったです。次の大会も勝って優勝できるように一生懸命がんばります。



豊丘チームの打棒がさえる

川柳 (豊丘川柳クラブ豊柳会)

▼課題「素 互選」

素つ裸失うもの無い強み 桃沢 健介
政治家の素顔を見た地位と欲 福沢 勝美
素気ない態度の裏にみえる性 宮下 小町
素直さが人にすかれて信を得る 吉川 燎

▼課題「重 互選」

相づちを打って後悔が重い 市沢 照子
重圧に堪えて掴んだ今の幸 宇井恵美子
毎日の積み重ねが実をむすぶ 西元 峯子
重圧に勝って笑顔のメタリスト 林 桃子
憲法の重き世論の声聞いて 泉 久子

▼自由吟 桃沢健介選

右を向き総理自分の縛り解く 喜寿 喜多
春芽吹く一夜の霜で天嘆く 安田 喜子
勢いに乗り改憲へ走るタカ 原 美風
生きて来た皺の深さが自分史た 久保ひろし
軸吟：くだもの里に衝撃春の霜

男女共同参画推進委員会より

六月二十三日から二十九日までは「男女共同参画週間」です。今一度、その重要性を考えてみましょう。また、一月二十日に「男女共同参画セミナー」で実施した安全安心の地域づくりの取り組みを、ぜひ進展させてほしいと思います。

俳句 短歌

満天星の花傘ふかく鳥宿る
眼細め花の香をかき濡れ佛
仏間の灯届く限りや夕牡丹
浄域に句碑かくまひて濃山吹
春なのに雪の予報や虹を見た
観音の微笑返し花ふぶく
囀りをながめて老の皴休め
公園に御衣黄桜数十本

（公民館短歌会）
ふた家族ひ孫加わり十二人われの傘寿を祝ってくれる 壬生 千春
垣根兼ね植えし「かなめ」の剪定す片付けるとき妻の手借りる 中嶋 一彦
すれちがう野球小僧の背を見て息子の追っかけ思い出したり 北沢 秀子
初夏の味房総びわの醜態味は先人たちの苦勞を「はくり」と 毛涯百合子
昭和の日に昔ながらの築山に葉桜となる二本を愛でる 大倉 知江
晴れの日には遅霜夏日を案じて天に祈りつ畑をめぐる 松下 泰見
妻と行く三日の旅の付き添いはむすめに妹 看護師ふたり 富永 博道

（八日会）
水張り田の目ごと増えるに鳴き競う蛙の声は今だに聞かず 河原 梨花
再発をおもい無理をせぬようにと家族の声にささえられおれり 松島 八重
下粟のこの地で暮らすを良しとしてひとと伝説する人あり 紅 梅
母の日に届けられたるカーネーション赤色あふれ腕に重たし 織田大原